

子どもの権利の推進がもたらす効果

学校・園での取り組み



学習

「子どもの権利条約」についての学びがカリキュラムに組み込まれ、実施される



コミットメント

子どもたちの健全な育成のために、子どもの権利の推進を学校・園が公約する



方針や設備

学校・園の経営方針や設備に子どもの権利を反映する



教育や指導

学校・園での教育や指導が、先生と子どもの双方の権利を尊重するかたちで行われる



参加

子どもたちが、自分に関係のある事柄について意見を述べ、その決定に参加する



モニタリング

子どもの権利を侵害するような行動やリスクがないかを常に確認する



活動

地域社会や国際社会で子どもの権利を推進するための活動を行う

学校・園にもたらす効果

子どもたちが自らの権利について知る

他者にもみな権利があることを知る

先生に子どもの権利を守る意識が育つ

先生と子どもたちが互いに尊重する意識が生まれる

子どもたちの意見が尊重される

子どもたちに安心安全な環境が整えられる

地域社会や世界に目をむける機会をもつ

学校・園や家庭、地域社会が子どもの権利についての知識を深めていく

お互いを尊重し、多様性を認め合うことにより、いじめや差別が減る

子どもたち同士、また先生と子どもたちとの良好な関係が築かれる

子どもの権利が守られた環境で、子どもたちが安心して過ごせるようになる

子どもたちが主体的に学校づくりに参加できるようになる

子どもたちは大切にされていると感じ、学習意欲も高まる

子どもたちが社会をよくするために行動できると感じるようになる

長期的な効果

学校・園への帰属意識を高め、**学校満足度**が高まっていく

子どもたちの**自己肯定感**や**自己有用感**が高まり、**生きる力**を育てていく

多様性を認めあう寛容で柔軟な、また責任ある市民として成長していく

積極的に**地域・国際社会に貢献**するための意欲と力を養っていく

▶ はじまりは子どもの権利について学ぶこと

子どもたちが生まれながらにもっている自らの権利について学ぶことにより、**自分自身の尊厳や価値**に気づくことができます。そして、自分だけでなく、他の子どもたちにも同じ権利があることを知ります。人権の学びを深めるなかで、先生などおとなも人権をもった存在であると認め**互いに他者の権利を尊重しあう**ことを学んでいきます。

▶ 信頼関係の構築が可能に

みなに基本的な権利があることを知るにより、子どもたちの中に**それぞれの違いや多様性を認める意識**が育ち、次第に差別やいじめなどが減っていきます。また、子どもたちと共に先生たちも子どもの権利について学ぶことは、**先生と児童生徒の信頼関係の構築**につながり、子どもたちが**学校・園でより安心して生活できる**ようになっていきます。

▶ あらゆる場面で子どもの声が聞かれる環境を

「子どもの権利条約」の4つの原則の一つに「子どもの意見の尊重」がありますが、学校・園でも**子どもの意見を尊重**することが鍵となります。日々の生活において自分の意見が受けとめられることにより、子どもたちは**自分が大切にされていると感じ**、毎日を前向きに過ごすことができるようになります。このことは、子どもたちの**学校・園への帰属意識と学校満足度を高め、学習意欲の向上と学業**における成果にもつながります。

▶ 社会を変える力に

子どもの権利について学び、権利が尊重された環境で過ごすことは、子どもたちの成長に大切な**自己肯定感を高めます**。自己肯定感の高い子どもたちは、身近にある学校・園だけでなく、**社会にも積極的に参加する意欲をもち、社会をよりよく変えていくための力を養い**、主体的に行動できる市民としての成長にもつながっていきます。